巻頭特集

市町の絆と地域愛を育むイベント

東紀州棒対決グランプリ

全国各地でなじみがある「ご当地グルメ」、「B級グルメ」。東紀州が生みだした「棒状グルメ」は聞いたことがあるだろうか。10月に東紀州では市町対抗の「棒対決グランプリ」が開催される。戦いの裏には市町の垣根を越えた熱い思いがある。

対決にむけて戦略を練る各市町

東紀州にある飲食店が串などに刺した棒状のグルメを持ちより、その人気を競う「東紀州棒対決グランプリ」が10月16日に開催される。マグロやサンマ、マンボウ、熊野地鶏などの地元食材をフライや団子などに工夫した各店自慢の棒状グルメが集結。1本100〜500円で販売され、来場者は1本につき投票権が1回与えられ、応援したいところへ投票できる。

このイベントの見どころは、店舗同士の対決ではなく、市町ごとが対戦すること。それぞれの市町が一体となる連帯感が重要になる。戦略も必要となり、ブースや包装、服装などを市町で統一すれば、来場者にも見た目で分かりやすくなる。また来場者の好みに合わせ、魚、鶏肉、牛肉、スイーツなどバラエティー豊かなメニューを設定するなど、現在、工夫を重ねて準備中だ。

棒状グルメを名物に面白いことで伝えたい

もともと棒状グルメは、2013年に尾鷲市で始まった。「市外からたくさんの人に来てもらったときに、どのように街あるきを楽しんでもらえるか、ソウルフードをどういう形にしたら食べ歩きがしやすいかを考慮し、棒状グルメを考えました。熊野古道を歩く方にも食べやすいと思います」と話すのは、尾鷲市でマグロの加工品などを扱う「尾鷲金盛丸」の村瀬晃健さん。誰もがふらっと立ち寄り、休憩ができる「尾鷲まちの駅」の各10店舗ほどが自慢の味を棒状に仕立てている。土日限定など店舗により提供方法は異なるが、尾鷲市内では年間を通じて食べられる。「棒状グルメをほお張りながら歩く人が、街中で見られるようになったらいいな」という思いを描く。

「棒をもっと知ってもらわなあかん」と紀北町に声をかけ、「面白いことをしよう」と2014年8月、紀北町で定期的に開催している「海・山こだわり市」の企画で初対決をした。「海・山こだわり市」実行委員の大野眞さんは、業者に声をかけてまわった。「紀北町は『きほくラブめし』というご当地グルメがあって、食のイベントに慣れているんです。『こんなんやるもんで』と声かけしたらスムーズに対決に発展しました」。

2016年3月には熊野市が加わり、3市町の対決を尾鷲市で開催。紀北町で海上釣り堀や養殖業を営む「貞丸水産」の山口剛史さんは、イベントを通して地域愛を感じたという。「2回目の尾鷲のときに、地域の人が『応援に行くでな』って言ってくれたんです。業者としては、しっかりしたもん作らなあかんて気が引き締まりました」。声援に応えるべく商品開発に力を入れ、会場で人気を呼んだ棒を商品化した店舗もある。イベント実施の主役は民間の業者。イベントを通して他の業者と知り合うきっかけにもなるのも特徴だ。

2016年3月に尾鷲魚市場内特設会場で行われた、東紀州棒対決グランプリは大勢の人でにぎわった

右）前回の対決では、741票を集めた尾鷲市の「おわせ棒」が優勝　下）「戦略をもらすわけにはいかない」と、準備を進める各市町。具体的なメニューは当日の楽しみに

熊野市記念通り商店街振興組合理事長の赤阪俊一さんは「初めての対決は、軽い気持ちで挑みましたが、たくさんの来場者があり、実行委員の尾鷲や紀北の熱い方々とも出会えました」と喜ぶ。実行委員自身が楽しみながらも、高速道路の開通や熊野古道の観光客など、観光地化が進む地域の流れに対応することに、イベントの発展性を感じたという。過去2回の熱戦が繰り広げられ、3回目を迎える今回は、熊野市で開催。御浜町と紀宝町も誘い、東紀州全域での広がりを目指す。

横のつながりを強めて東紀州全体の集客を目指す

熱い戦いであるのは確かだが、棒対決でグランプリを決めるのは優劣を争うためではない。「高速道路がつながった今、地域間が広域的に結束を強めるチャンスなんです。地元の人はもちろん、遠くからもたくさんの人に東紀州を目指して来てほしいです」と熊野市商工会議所の伊東裕将さんは言う。

「横のつながり」への思いは各市町の代表者に共通している。「東紀州で棒をたくさんつくって、いっぱい食べてもらいたい。ゆくゆくは、『棒状グルメマップ』を作成して東紀州全体で集客をしたい」と構想を描く。「市町を縦割りで考えていてはこのような対決はできん。民間の力を結集させて、下からの突き上げでやっていこーや」と市町の絆と地域愛は回を追うごとに境を越えて、深まっている。

地域愛が凝縮された棒の一本一本。みんなで食べて、さあ、どこに投票しようか。

棒状グルメの対決に向けて気合いが入る市町の代表者

棒対決グランプリ

【日時】
10月16日(日)
10:00〜14:00

【場所】
山崎運動公園(熊野市有馬町山崎)
当日は、ダンスやソーランなどのイベントもあり

【問い合わせ】
協同組合尾鷲観光物産協会
☎0597-23-8261

尾鷲市「おわせ棒」

棒状グルメの発起人でもある「尾鷲金盛丸」の村瀬晃健さん。尾鷲市では「おわせ棒食べ歩き」というイベントも企画し、日ごろから棒状グルメの普及に努めている

熊野開催ではありますが、ぜひ尾鷲の方々にも熊野まで足を運んでいただけたらうれしいです。そして、東紀州の各事業者が作り出した棒グルメを楽しんでください！

メニュー例
まぐろカツ棒、サザエのうま煮、尾鷲まるごとおでん、尾鷲えびからあげ棒、竹ようかんなど
100〜300円

現在開催されている「おわせ棒食べ歩き2016」の商品を基本に当日はさらに魅力ある商品を出品予定

紀北町「こだわりきほく棒」

紀北町「海・山こだわり市」の実行委員を務める大野眞さん(左)と実行委員長の山口剛史さん(右)。「海・山こだわり市」は年に4回開催されている

出店する方には業者の誇りがさらに生まれ、来場する方は、地域の美味しいものが再発見できます。当日は、東紀州の食の魅力を再認識してください！

メニュー例
マン棒、カステラチョコス、ロングクッキーシュー、カツオかつ棒など
100〜300円

熊野市「くまの棒」

熊野市記念通り商店街振興組合理事長の赤阪俊一さん(左)と熊野市物産振興会会長の中田早姫美さん(右)

広い東紀州ではありますが、熊野には美味いものがなんでもそろっているところを証明したいです！ ぜひ会場では熊野に「清き一棒」をお願いします！

メニュー例
熊野地鶏、美熊野牛、地魚、スイーツなど
100〜500円

※各市町のメニュー・金額は、変更になる場合もあります

文・写真／丸井みのる　写真提供／東紀州棒対決グランプリ実行委員会　デザイン／chica